

望月一宏 もちづき いちひろ 小説家、教育評論家。大正十二年樺太豊原市生れ（一

九二四一）。東京大学文学部卒。教職の傍ら教育を題材とした小説を發表。

昭和四十四年より公立中學校校長を務める。

著書『ある女教師』（昭和三十四年九月十五日徳高書房）、『女教師』

（昭和三十五年十月二十日東京信友社）、『中学二年以後』（昭和五

十三年十一月二十五日中央公論社「中公新書」）、『昼下りの中学生』

（昭和五十四年九月十日中央公論社「中公文庫」）等。

